

氏 名	岩本 美紀
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	保健学
学位授与番号	博甲第6429号
学位授与の日付	令和 3年 3月25日
学位授与の要件	保健学研究科 保健学専攻
学位論文の題目	(学位規則第4条第1項該当) Post-transplantation cyclophosphamide restores early B-cell lymphogenesis that suppresses subsequent chronic graft-versus-host disease (移植後シクロホスファミド療法における初期の B 細胞分化の回復が慢性移植片対宿主病を抑制する可能性についての検討)
論文審査委員	教授 佐藤 康晴 教授 宮原 信明 准教授 渡邊 彰吾

学位論文内容の要旨

近年、同種造血幹細胞移植 (Hematopoietic stem cell transplantation ; HSCT) 後の慢性移植片対宿主病 (chronic graft versus host disease ; cGVHD) と B 細胞の免疫異常に関する研究が注目されている。しかし、移植後シクロホスファミド (Post-transplantation cyclophosphamide ; PTCy) を用いた HLA 半合致移植後の免疫再構築については明らかでないことから、PTCy を含む計35 例の様々な移植ソースにおける患者のリンパ球サブセットの再構築を調査した。移植後8 週目における B 細胞の再構築には、移植細胞と急性GVHD 発症の影響がみられた。また PTCy では transitional B 細胞の割合が多く、cGVHD の発症率も低い傾向が認められた。これらの結果は、移植後早期にナイーブな B 細胞分画の回復が妨げられることが、その後の cGVHD の発症に関連していることを示唆し、同種 HSCT 後の B リンパ球形成を標的とする新しい治療・予防戦略の開発に役立つと考える。

論文審査結果の要旨

本研究において、同種造血幹細胞移植後早期にナイーブB細胞の回復が妨げられることが、慢性GVHDの発症に大きく関与していることを明らかにしている。さらに移植後シクロフォスファミドは、B細胞の恒常性を回復させることで、慢性GVHD発症リスクを軽減する可能性を見出している。

本研究は、慢性GVHDの治療および予防戦略に貢献する重要なものである。

以上より、博士（保健学）の授与にふさわしい研究であると評価する。